

中九州横断道路の 早期整備に関する要望書

熊本経済同友会

熊本県商工会議所連合会

熊本県商工会連合会

熊本県経営者協会

熊本県中小企業団体中央会

熊本県工業連合会

中九州横断道路の早期整備に関する要望

九州の道路整備促進につきましては、日頃から格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

九州におきましても、東日本大震災を教訓とした南海トラフの巨大地震（東海・東南海・南海地震）への備えとして、また、今夏の九州北部豪雨などを踏まえ、災害に強い幹線道路ネットワークの整備が喫緊の課題となっております。

中九州横断道路は、熊本大分両県の県庁所在地を結ぶ重要な地域高規格道路であり、高規格幹線道路と同様の役割を有しており、九州の東西間を連結してミッシングリンクを解消し、九州の一体的な発展を図るために必要不可欠な道路です。

また、沿線地域には、九州を代表する観光地や企業集積地が存在し、観光振興や地域の活性化、緊急医療を支え、将来的に持続可能な地域づくりのためには不可欠な道路でもあります。

去る7月12日の九州北部豪雨により、中九州横断道路の沿線地域において、土砂災害や洪水により国道57号を含む多くの道路も被災し、特に、大分と熊本を結ぶ地域の生命線となる阿蘇市の国道57号「滝室坂」においては、長期の通行止めが発生し、住民生活へ大きな影響が生じました。国土交通省のご努力により、「滝室坂」についても仮復旧をいただきましたが、いまだに完全復旧にはいたっておりません。

今後の予算編成においては、九州のくしの歯であり、まさに「命の道」である中九州横断道路をはじめとする全国的な防災対策の強化、全国ミッシングリンクの整備のための予算を十分に確保していただくよう強く要望いたします。

地域高規格道路中九州横断道路の早期整備のため、次の事項について特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

一 被災した国道57号「滝室坂」については、今回の大災害を契機とした創造的復興を図る観点から、災害復旧事業などにより、九州の横軸となる中九州横断道路にも活用可能な形で、早期に整備すること。

一 災害時における信頼性の高い道路として、「中九州横断道路」全線の早期整備に取り組むこと。

- ・「熊本大津間」の早期の整備区間指定【特に計画段階評価の早期完了】
- ・「阿蘇大津道路」の事業再開
- ・「阿蘇大津道路」から東へ向かう区間の調査区間指定

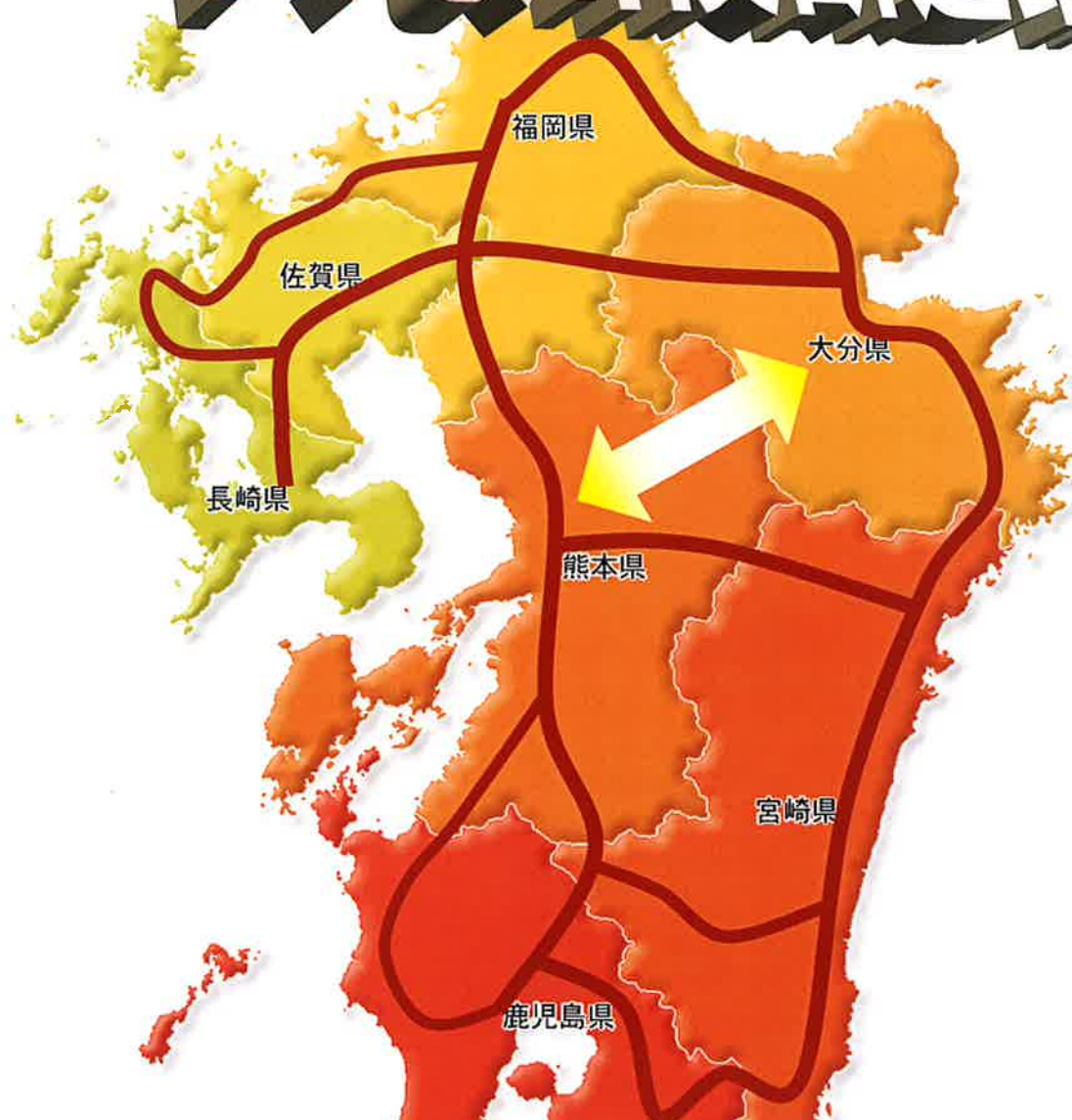
平成24年11月9日

| | | |
|--------------|------|-------|
| 熊本経済同友会 | 代表幹事 | 甲斐隆博 |
| | 代表幹事 | 大久保太郎 |
| 熊本県商工会議所連合会 | 会長 | 田川憲生 |
| 熊本県商工会連合会 | 代表者 | 伊東昭正 |
| 熊本県経営者協会 | 会長 | 浅山弘康 |
| 熊本県中小企業団体中央会 | 会長 | 野田三郎 |
| 熊本県工業連合会 | 会長 | 足立國功 |

災害に強い命の道

地域高規格道路

中九州横断道路



◆すべての道はくまもとに通じる◆

～九州の拠点を目指して～

熊 本 県

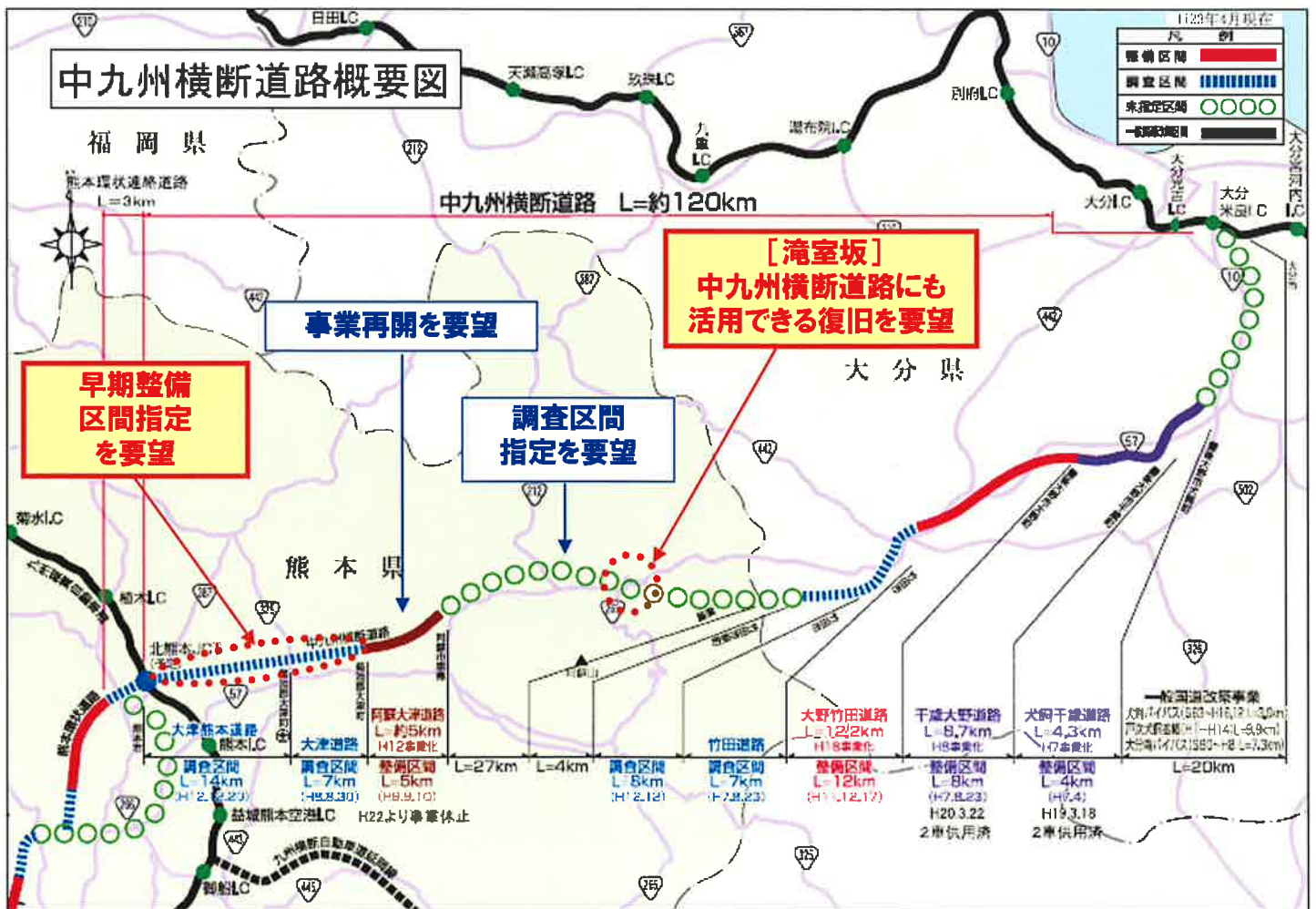
中九州横断道路の早期整備

中九州横断道路は、高規格幹道路と同様の役割を有する重要な地域高規格幹線道路であり、九州の東西間を連結してミッシングリンクを解消し、九州の一体的な発展を図るために必要不可欠な道路であるため、以下のことを盛り込んで、全線の早期整備を関係機関に要望しています。

○災害時における信頼性の高い道路として、「中九州横断道路」全線の早期整備に取り組むこと。

- ・「熊本大津間」の早期整備区間指定【特に計画段階評価の早期完了】
- ・「阿蘇大津道路」の事業再開
- ・「阿蘇大津道路」から東へ向かう区間の調査区間指定

○平成 24 年 7 月 12 日の集中豪雨により被災した国道57号「滝室坂」については、今回の大災害を契機とした創造的復興を図る観点から、災害復旧事業などにより、九州の横軸となる中九州横断道路にも活用可能な形で、早期に整備すること。



中九州横断道路の概要

中九州横断道路は、大分市から熊本市に至る約 120 km の地域高規格道路で、平成 6 年 12 月に「計画路線」の指定を受けています。

この道路は、高規格幹道路と同様の役割を有する重要な地域高規格幹線道路であり、九州の東西間を連結してミッシングリンクを解消し、九州の一体的な発展を図るために必要不可欠な道路です。

また、沿線地域には、九州を代表する観光地や企業集積地が存在し、観光振興や地域の活性化、緊急医療を支え、将来的には持続可能な地域づくりのためには不可欠な道路でもあります。さらには、現在発生している交通渋滞を大きく改善すると期待されています。

中九州横断道路沿線の状況

○企業集積

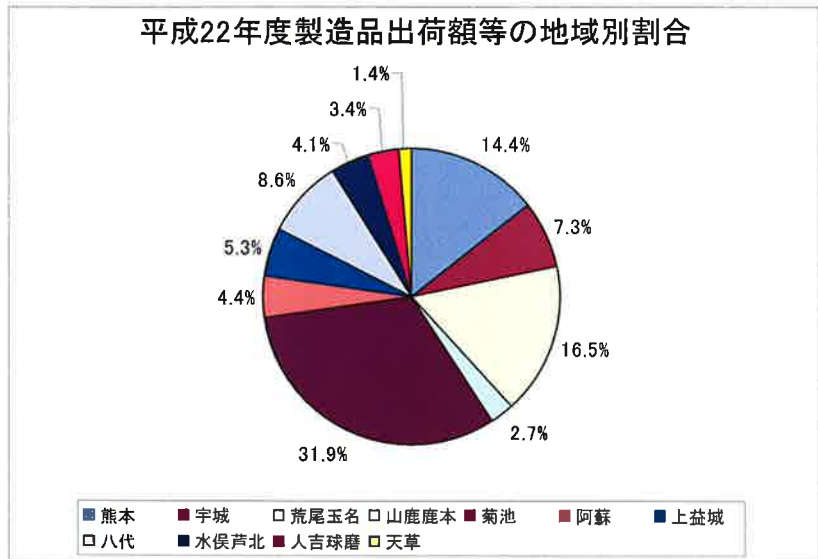
平成 22 年の県内の製造品出荷額は 2 兆 5,209 億円。
 県内の製造品出荷額の 50% が本路線沿線に集中。



ソニーセミコンダクタ(株)



ホンダ熊本製作所



出典:平成 22 年工業統計調査結果(県統計調査課)

○観光状況

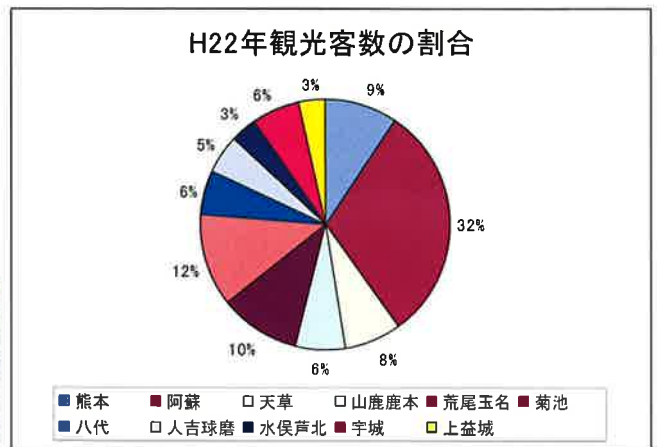
平成 22 年の県内の観光客総数は 5,723 万人。本路線沿線地域(熊本、菊池、阿蘇)には歴史、自然景観、温泉など観光資源が豊富で 2,957 万人の観光客が入り込んでおり、県全体の 52% となっている。



阿蘇五岳



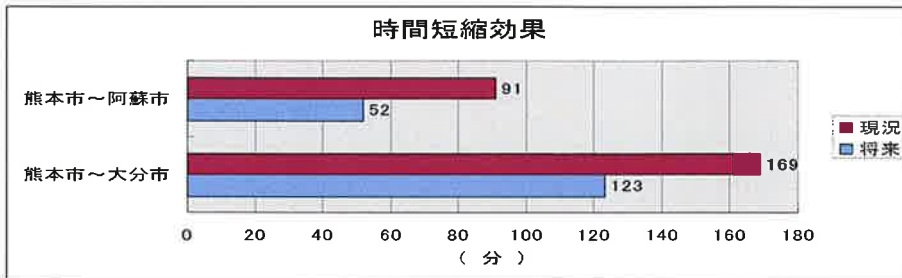
熊本城



出典:平成 22 年観光統計(観光課)

中九州横断道路のさまざまな効果

- **時間短縮**による**定時性が確保**され、大分県との**広域交流ネットワーク**が形成されます。



- **災害時に、信頼性の高い道路「命の道」として機能**します。
平成24年7月12日の災害により、国道57号滝室坂が、1ヶ月を超える全面交通止めとなり、地域住民の生活や産業活動に対して、大きな影響が生まれました。再びこのような事態が発生しないよう、災害時にも機能する信頼性の高い道路が必要です。
- **工業面**では、時間短縮効果による**輸送コストの低減**が見込まれます。
「熊本県の半導体が大分へ」、「大分県の鉄鋼が熊本へ」といったように、工業面での結び付きが強い2県。時間短縮効果による輸送コストの低減により、結び付きの拡大が期待されます。
- **観光面**では、時間短縮効果による**観光消費の増加**が見込まれます。
沿線には、年間約3,000万人(熊本県内)の観光客が訪れています。また、九州のバスツアーの約4割が阿蘇地域を經由しています。時間短縮効果による滞在時間の増加により、観光消費の増加が期待されます。また、観光シーズンの渋滞緩和も見込まれます。
- **農業面**では、**輸送コストの低減と製品の品質向上**が見込まれます。
沿線は、トマト(全国1位)、イチゴ(全国3位)、成牛出荷数(全国4位)、酪農品(全国5位)など農業が盛ん。時間短縮による輸送コストの低減と、走行性の向上による品質向上で、農業の活性化が期待されます。
- **救急医療**では、救急搬送時間の短縮により**生存率が向上**します。
阿蘇地域の救急搬送時間は、全国平均、熊本県平均の約1.5倍です。県の試算では、救急搬送の短縮により、50年間の生存者の増加は、約640人が見込まれます。

熊本県土木部道路都市局道路整備課

〒862-8570

熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号

TEL:096-333-2497

Mail: douroseibi@pref.kumamoto.lg.jp

絶対に必要な
道路だモン!



©2010 熊本県 くまもと

H24. 10 作成